



海老名に「ホスピタル・クラウン」

病院を巡る道化師「ホスピタル・クラウン」2人が15日、海老名市の海老名総合病院を訪れ、病棟の子どもたちに笑顔を届けた。

「こんにちは！」。小児病棟の扉を元気に開けて、赤い鼻をつけた男女が登場した。日本ホスピタル・クラウン協会のチョコさんとスーリーさんだ。おどけたしぐさで話し、手のひらから赤い玉を出す手品やバルーンアートでなごませる。緊張していた子ども4人も次第に声をあげて笑い出し、次の病室に移る2人に手を振って見送った。

入院1カ月になる麻生健介君(3)が「楽しかった。次に来たらまた見たい」と話すと、そばにいたお母さんが「来週もう退院だよ」と笑っていた。